

平成 26 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証第一部)
問合せ先 執行役員 中島 由彦
(TEL (03) 5740 - 5724)

平成 25 年 12 月期 連結業績のお知らせ

1. 平成 25 年 12 月期連結業績について：

当社グループの当連結会計年度の連結業績は、

売上高	30,049百万円	(前年同期比 28.7%増)
営業利益	3,352百万円	(前年同期比 73.3%増)
経常利益	3,454百万円	(前年同期比 67.9%増)
当期純利益	2,027百万円	(前年同期比 73.7%増)

となりました。

当連結会計年度におきましては、当社において前期に獲得した複数の新規顧客のみならず、既存顧客からも順調にプロジェクトの受注に成功し、また、すべての子会社(※)の売上も前期比で増加したことから、連結売上高は過去最高を更新しました。売上高の増加に伴って対売上高利益率も上昇したことにより、連結の営業利益、経常利益及び当期純利益についても過去最高を更新しました。(※)株式等の保有を目的とする子会社を除く

各セグメントの業績については以下のとおりです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

(1) ITコンサルティング事業

複数の新規顧客において、業務改革を伴うITシステムの刷新・統合に関する大型プロジェクトのグランドデザインフェーズが着実に進捗しました。同時に、その他の新規顧客や既存顧客との戦略的な関係構築により、業種やフェーズのバランスのとれた受注を獲得し、売上高の増加を達成しました。

新しい試みとして取り組んでいた金融クラウド(SKYBANK)についてはフルサービスの提供を開始したほか、グローバルERPの導入案件も増加するなど新たな戦略分野のサービスも着実に進展しました。

シンガポール・マレーシア・タイの子会社においては、全社でSAP社のGold Partnerの認定を取得し、SAP製品のチャネル販売（タイは除く）も可能となったこともあり、前年同期と比較して3社合計の売上高が倍増の約1,500百万円となりました。

この結果、売上高は19,707百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益は2,959百万円（同69.6%増）となりました。

（2）パッケージ&サービス事業

Future One 株式会社は、自社製品のERPや販売管理系のライセンス販売が好調であったことから売上高が増加しました。さらに、見積り精度の向上やプロジェクトの進捗・品質管理の強化が順調に進展して、プロジェクトの利益率が改善したことにより、営業利益が前期比で大幅に改善しました。株式会社アセンディアは、当社との連携による保守サービス等の増加や地方公共団体のプロジェクトを継続して受注したことで、売上高は前年同期比で増加しましたが、採用や研修関連の費用が増加や一部プロジェクトの外注費の増加により、前年同期比で営業利益は減少しました。

この結果、売上高は4,577百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は373百万円（同33.6%増）となりました。

（3）ニューメディア&ウェブサービス事業

第2四半期末に新たに連結子会社とした株式会社eSPORTSにおいてスポーツ・アウトドア用品のネット販売が好調に推移しました。特に「楽天市場」では、スポーツ部門のジャンル大賞を3年連続受賞（2011年～2013年）しました。東京カレンダー株式会社は出版・広告売上の増加やコストの見直しにより、通期の営業赤字が大幅に縮小しました。

この結果、売上高は1,977百万円（前年同期比598.8%増）、営業利益は51百万円の損失（前年同期は151百万円の損失）となりました。

なお、株式会社eSPORTSの連結子会社化に伴い、「ニューメディア&ウェブサービス事業」を新たなセグメントとして追加し、同社及び前連結会計年度において「その他」で集計していた東京カレンダー株式会社を当該セグメントにて集計しております。前年同期比については、前連結会計年度の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

（4）企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、寿司のインスタ化や漁港からの直接買い付けなどの商品戦略の見直しや新商品の開発等により、前年同期比で売上高が増加し、連

結子会社後最高の売上高となりました。また、物流コストの削減、広告宣伝費や水道光熱費等のコストを適切にコントロールできたことにより、前年同期と比べ、粗利率・営業利益率が向上しました。その結果、売上高は4,559百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は46百万円（同57.0%増）となりました。

2. 平成26年12月期業績予想について：

当社グループの平成26年12月期の連結業績は、

売上高	33,400百万円	（前年同期比11.1%増）
営業利益	4,000百万円	（前年同期比19.3%増）
経常利益	4,040百万円	（前年同期比17.0%増）
当期純利益	2,280百万円	（前年同期比12.4%増）

を見込んでおります。各セグメントの特記事項は次の通りです。

（1）ITコンサルティング事業

グローバルな競争に打ち勝つために、戦略的な企業再編・企業統合が益々盛んになっておりますが、巨大になったグループの経営情報を集約化し、戦略的な経営を実践するために、グループ全体のITの刷新・統合を行うことが求められています。このITの刷新・統合においては、リアルタイムに製商品毎の売上・損益情報を把握すること等により、意思決定のスピードアップを可能にすることが課題となって来ており、当社グループが創業以来取り組んできた分散リアルタイム処理技術やシステムのダウンサイジング化のノウハウをこれに活かすことができるものと考えております。既にITの刷新・統合を必要とする顧客の大型のプロジェクトを複数開始しておりますが、今後とも新たな顧客からの依頼が増えてくるものと考えております。当社としては、受注した大型のプロジェクトを確実に実行し、顧客に対し業務改革、ITコストの大幅な削減及び経営スピードの向上といった価値を提供してまいります。そのために独自のプロジェクト監視システムやこれまで蓄積したプロジェクト管理ノウハウを最大限に活用し、プロジェクトの品質の向上に引続き注力いたします。

また、当社がこれまでにITシステムを開発・納入した顧客だけでなく、他社が開発したシステムを使用する顧客への追加開発や保守運用サービスを行い、顧客のITをプロフェッショナルとして支援するサービスが拡大しており、今後は社員の技術力の向上、当社が開発したコンポーネントの継続的なバージョンアップ及びシステムの監視・運用の仕組みの改善に努めることでITに関する戦略的かつ長期的なパートナーとして付加価値を提供してまいります。

シンガポール・マレーシア・タイの子会社については、現地の大企業や欧州企業のアジア子会社などの顧客を獲得し、売上が拡大しております。今後は、さらにSAP製品を得意とす

る販売パートナーとの連携を深め、顧客への提案やデリバリーに関して3つの子会社間の協力体制をより強固なものとする事で、損益面での改善を目指してまいります。さらに周辺諸国への進出により東南アジア諸国でのビジネスを加速化させていきます。同時に、東南アジアや中国に進出している日本企業のIT支援についても拡大させてまいります。

(2) パッケージ&サービス事業

Future One 株式会社は、これまで一定の成果を収めてきたプロジェクトの採算管理・品質管理の改善の取組を継続的に進めることで、さらに営業利益率の向上を図ります。また、これまで手薄だった地域や提供していなかったソリューションに強い他社との提携により顧客層の拡大を目指します。株式会社アセンディアにおいては、引き続き当社との連携強化により、既存顧客の保守運用サービスの充実を図るとともに、これまでに蓄積したノウハウを元に新規の企業や公共団体からの受注の獲得を目指します。

(3) ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSが持つECビジネスに関するノウハウと、東京カレンダー株式会社が持つ豊富なコンテンツ、及び当社のITの知見を融合させ、オリジナルサービスの創出を目指し、収益の拡大を図ってまいります。

(4) 企業活性化事業

株式会社魚栄商店においては、産地からの農作物直接買付など新たな仕入ルートの開拓や来店客からヒアリングによるニーズの掘り起こしなどにより、他社とは異なる売り場づくりを目指すとともに、売上や損益のデータ分析による適正在庫の実現や定型業務の効率化をITの利活用によってさらに推進することで営業利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成26年12月期の配当は、**1株当たり16円の普通配当**を予定しております。また、株主の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物により、当社は平成26年11月に創業25周年を迎えますので、**1株当たり1円の記念配当**を予定しております。

従って、平成26年12月期の年間配当につきましては、普通配当と合わせて**1株当たり17円(中間配当8円、期末配当9円)**となります。

(参考：平成26年12月期業績予想および前年同期比)

	平成25年12月期 実績	平成26年12月期 予想	前年同期比
売上高	30,049百万円	33,400百万円	11.1%増
営業利益	3,352百万円	4,000百万円	19.3%増
経常利益	3,454百万円	4,040百万円	17.0%増
当期純利益	2,027百万円	2,280百万円	12.4%増
1株当たり当期純利益	45.39円	51.09円	
1株当たり配当金	15.50円	17.00円	+1.50円

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金につきましては、当該分割が平成25年12月期期首に行われたと仮定して算出しております。

以 上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャーアーキテクト株式会社 IR 担当 池内

IR 直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp